生徒総会「髪型を自由にしてほしい」という要望に対する回答」
（回答代表者：校長。ただし、この回答は先生方の了承を受けています。）
●「髪型を自由にしてほしい」
【回答】
　校長個人としては、人権や表現の自由等を総合的に判断した上では、基本的に賛成です。
　しかし、残念ながら「今」ではありません。
　その考え方のスタートは、学校は（日本の）社会の縮図であるということです。現代の日本社会の動向が学校にも影響を及ぼしていることは分かると思います。
　そして、現代社会においては、中学生らしい暗黙の髪型というものがあります。
　例えば、皆さんの大多数が進学する高等学校では、ほとんどが高校生らしい髪型の校則があり、近隣の高等学校でも「ツーブロックは禁止」となっています。
　そんな社会に生きている中学生は、それに従って髪型を自由にはできません。
　もう一つ、「髪型を自由にしない」重要な理由があります。
　それは「見た目が９割」という事実です。
　もし、誰かが急に思い立って髪型を普段中学生には見られないような色や形にしたとします。そうすると、いろんな人が寄ってきます。そこには危険があります。
（逆に言うと、危険な人物は、自分が危険であると服装や髪型で知らせてくれます。）
そんな人たちが、「ああ自分たちと同類だ」と思って寄ってきます。
　そうすると皆さんの親や先生方は、とても心配になります。親御さんや先生方は、君たちを愛しています。だから、皆さんをわざわざ危険な目に遭わせたくはありません。
　そして万が一ですが、取り返しのつかないことになるかもしれません。
　だから、君たちを守るためにも、髪型は自由にはしません。
　自由な髪型には、百害あって一利ぐらいがあるのが現状です。
　日本の社会が成熟すれば、自由な髪型もあり得ると思います。
　みなさんでそんな成熟した日本をつくってください。